

「16イースト春闘」がスタート JR連合 2016 春季生活闘争勝利に向けて

8月4日、「JR連合第1回賃金対策委員会」が開催され、2016 春季生活闘争について具体的な方針策定に向けたスケジュールを検討するなどし、実質的な JR 連合“16春闘のスタート”が切られた。

委員会では、座長を JR 連合河村事務局長が務める中、代表して松岡会長から、「新体制となつての会議、新たな気持ちで取り組んで欲しい。」と挨拶があり、「安全問題」「民主化闘争」「春闘」等について現状報告がされた。

続いて政所政策業務部長からは、本委員会の目的が述べられ、①「中期労働政策ビジョン」で明記した「賃金のあり方」のあるべき姿及び向こう5年間の到達目標を踏まえ、「JR連合賃金実態調査」及び「賃金センサス」等を参考にしながら、将来を見据え、明確にした目標へのキャッチアップを図るとともに、16春闘を具体的に取り組むための指標を検討する。②全てのJR関係労働者にとって相応の働き方を定め、賃金・処遇制度を中心としてこれまでの取り組み状況、到達を踏まえつつ、あるべき姿について不断に検討を図る。③賃金処遇制度をはじめとした諸労働条件をめぐり、あらゆる情報の共有化を図り、加盟単組の諸労働条件向上に向けた取り組みの意思統一を行う、との提起がなされた。

その後、15春闘の総括と来春闘に向けた課題についての報告要請が確認され、併せて第22回賃金実態調査について各単組の調査項目追加の調整などを申し合わせたうえ、今後の具体的スケジュールを確認し、来年2月に行われる中央委員会に向けて2016 春季生活闘争を進めていく事とした。



JR連合 第27回中央委員会の様子

責任産別 JR連合の一員として16春闘勝利に向け
JREユニオン「イースト春闘」に結集し共に闘おう！